

連携企画展

# かすみがうら市歴史博物館・石の百年館 (かすみがうら市) (笠間市)

## 出張！筑波山地域ジオパーク

# ～「石」と「湖」～

### 笠間市 石の百年館 会場

問合せ先 / 笠間市商工観光課 ☎0296-77-1101

2017年

# 9月5日(火) - 12月24日(日)

## 「石の百年館」と「かすみがうら市歴史博物館」が夢のコラボレーション！

このたび、稲田石の採掘にまつわる貴重な資料を展示する笠間市の「石の百年館」と、霞ヶ浦およびかすみがうら市に関する資料を調査・研究・展示する「かすみがうら市歴史博物館」が連携し、筑波山地域における「石」と「湖」をクローズアップした連携企画展「出張！筑波山地域ジオパーク～「石」と「湖」～」を開催することとなりました。

広大な筑波山地域ジオパークの中にある、稲田・福原ジオサイトの「石」にまつわる展示と、歩崎～崎浜・川尻ジオサイトの「湖」にまつわる展示資料が互いのまちに出張します。この機会にぜひ「石」と「湖」が織り成す筑波山地域の魅力を体感してみてください。

### 筑波山地域の産業発展とともにあった「石」と「湖」

筑波山地域は、主に、日本百名山の一つである名峰筑波山を含む山塊と、湖面積が日本第2位の霞ヶ浦、それらをつなぐ平野で構成されています。

筑波山地域の大地がもたらす石、土そして水は、様々な伝統産業を育み、関東平野や霞ヶ浦での農業や水産業、酒・醤油などの醸造業や霞ヶ浦流域での水運を発展させました。

筑波山地域ジオパークの詳細は公式HPへ！



## 稲田石

「稲田石」は約6千万年前にマグマが地下深くでゆっくりと冷え固まってできた花崗岩です。良質の石材として迎賓館や国会議事堂などに用いられ日本の近代建築の発展を支えました。

花崗岩が風化してできた良質の粘土は窯業を育み笠間焼などの関東を代表する焼き物を世に送り出しました。



石切山脈

## 霞ヶ浦

霞ヶ浦は、かつては海だった場所が内陸に取り残されてできた湖です。霞ヶ浦ゾーンには当時の地形や地質が比較的よく保存されており、地層中にマガキなどの貝化石を見ることができます。



帆引き船とワカサギ

MUSEUM 石の百年館  
茨城県笠間市稲田 2307 (JR稲田駅隣接)

TEL : 0296-74-5114

MUSEUM かすみがうら市歴史博物館  
茨城県かすみがうら市坂 1029-1

TEL : 029-896-0017

予告 ▶ かすみがうら市では、11月中旬より展示開始 場所：あじさい館 かすみがうら市深谷 3719-1